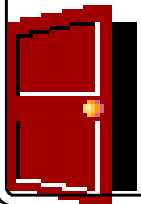


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年11月22日 文責 渡邊

第三次函南町子どもの読書活動推進計画！

19日(土)に函南町図書館に出向き、リーフレットをいただきました！

11月19日(土)は晴天に恵まれました。そこで私も函南町図書館に立ち寄ってみました。そこには、家族連れの方がたくさん来館されていました。

函南町では、「読書のまち・かなみ宣言」が平成25年4月にされました。この宣言には下記のことが宣言されています。

- ◆親子や家族、みんなで本を読みましよう
- ◆保育園や幼稚園の子どもたちは、絵本ともだちになりましよう
- ◆児童や生徒は、たくさんの本に親しみ、読書週間を身に付けましよう
- ◆地域のことを知り、人生を深く味わうために、本から学びましよう
- ◆町ぐるみで、読書に親しむ環境を作りましよう



【第三次函南町子どもの読書活動推進計画のリーフレット表と裏】

そして、「第三次函南町子どもの読書活動推進計画」が策定され、2019(平成31)年度から2023年度までの期間、読書活動の推進にあたっています。

その「読書活動推進計画」の中に、学校・園における子どもの読書活動の推進が下記のように記されています。

1. 【新規】 幼稚園教育要領、保育所保育指針、学習指導要領に基づく読書指導
2. 【継続】 学校の果たす役割、体制づくり
3. 【継続】 保育園、幼稚園の図書コーナー、学校図書館の整備・充実
4. 【継続】 読書活動を推進するための人的配置
5. 【継続】 読書習慣の確立、読書指導の充実
6. 【継続】 職員、ボランティアの資質向上
7. 【継続】 読み聞かせなどによる読書活動の推進
8. 【継続】 学校図書館間及び町立図書館との連携
9. 【継続】 特別な支援を必要とする子どもの読書活動への支援
10. 【新規】 読書記録ノート(端末)の利活用
11. 【継続】 保護者に対する読書活動の推進
 - ・ボランティアへの参加の呼びかけ、図書館だよりなどを活用した読書啓発、家庭での読書推進など

本校では、読書活動の推進を学校職員、保護者、地域住民の協力のもと、計画的に行っています。1、2については、年度初めに職員研修で確認、実施。3については、小谷司書とともに魅力ある図書館経営を計画・実施。4については、町より図書館司書の小谷司書が来校。5については、朝の活動での時間や家庭学習に「読書」を位置づけ習慣化を図る。6については、読書活動通信『読書活動への扉を開く』を配布し、啓発。7については、学校と家庭、地域社会が連携して推進。8については、計画的に連携。9については、個に応じた支援を実施。10については、読書記録ノート(端末)を活用。11については、読書活動通信『読書活動への扉を開く』を配布し、学校と家庭の連携を図りながら推進。

マルベリーさんによる読み聞かせ

11月17日(木)にマルベリーさんによる読み聞かせが行われました。



【1年教室の読み聞かせの様子】



【2年教室の読み聞かせの様子】



【3年教室の読み聞かせの様子】



【4年教室の読み聞かせの様子】



【5年教室の読み聞かせの様子】



【6年教室の読み聞かせの様子】



【第2図書室前の掲示】

マルベリーさんによる読み聞かせは、これまで5回開催されました。子供たちは、たいへん興味深くお話を聴いています。マルベリーの皆さんは、読み聞かせが終わった後、本校の会議室に集まり、読み聞かせの様子を報告し合っています。この報告会は、次の読み聞かせに生かすものです。私も一度仲間に入れていただいたことがありましたが、とても参考になった覚えがあります。マルベリーの皆さん、これからもよろしくお願いします。

最後に、保護者の方から寄せられた感想を紹介します。

「読書活動の扉を開く」(11月17日号)を読んだ感想
幼稚園の頃、言葉の発達が遅く、どのように語彙力を増やせばよいのか悩んだ時期がありました。この頃から、習い事で本だけではなく問題の中で多くの文章に触れてきました。年齢に比べ、難しい文章の内容になってきたとき、分からない単語が出てきました。そこで、早いとは思いましたが「国語辞典」を購入し、自分で調べてみることにしました。今でも辞典を引いています。PCやスマホで何でも簡単に検索できてしまいますが、自分で探して、見つけて、理解する。私はこれが一番身に付くのではないかと思います。昔、身近にPCのない時代、私も自由研究などで調べ学習をした際に、町の図書館に行き、自分でたくさん本をあさり、テーマに合った本や資料などを見つけていました。一見、手間はかかりますが、見つけたときの喜びがあったように思い、楽しく取り組んでいた記憶があります。子どもたちにも、自分で発見する楽しさを感じて欲しいと思います。(4年生保護者)

ご意見を寄せてくださりありがとうございました。子ども自身が読書を楽しんでいると感じてくれることが大切だと思います。私たちの成功体験を子どもたちに伝えていきたいですね。